

指導と評価の年間計画（論理・表現Ⅰ）

岐阜県立土岐紅陵高等学校

| 科目 | 論理・表現Ⅰ | | 学年 | 2 | 指導クラス | 全クラス |
|-----|--------|-------|--|---|----------|---|
| 単位数 | 2 | 使用教科書 | ATLANTIS LOGIC & EXPRESSION 1 STANDARD (CHEERS) | | 副教材・問題集等 | 総合英語 WISH English Grammar 26units (文英堂) Baton Pass Type R1 (啓隆社) |

1. 科目の目標

第1学年次における学習を踏まえた上で、「話すこと」「書くこと」を中心とした発信力の更なる強化を目指す。【具体的な取り組み】日常的話題について、一定の支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、

- ・ 話すこと(やり取り) ①情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。②ディベートやディスカッションなどの活動の場で、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。
- ・ 話すこと(発表) ①情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。②スピーチやプレゼンテーションなどの活動の場で、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。
- ・ 書くこと ①情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。②聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。

2. 評価の観点の趣旨

| 知識・技能(技術) a | 思考・判断・表現 b | 主体的に学習に取り組み態度 c |
|---|---|--|
| ・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションの場面において、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 | ・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えを活用して適切に表現したり伝えあったりしている。 | ・ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |

3. 指導及び評価計画

| 月 | 単元 | 指導項目 | 予定時間 | 主な学習活動(指導内容)と到達目標 | 評価の場面・方法 | 評価の観点 | | |
|--------|---|---|------|--|--|-------|---|---|
| | | | | | | a | b | c |
| 4 | Lesson 9 Big cities are more expensive than small towns | ・ 大都市と小さな街を比較する内容 ・ 比較級 ・ 比較する | 5 | 【知識・技能】・比較級を理解する。 ・ 「より～」という表現について様々な場面を設定し、会話を定着させる技能を身につける。 【思考・判断・表現】・ more / less の表現について確認し、2つ以上のものについてその優劣関係を比べることができる。 | 小テスト 定期考査 ワークシート | ○ | ○ | ○ |
| | Lesson 10 Who is the funniest person in your school? towns | ・ 「～の中で1番(良い、悪い、1番面白い)」を表現する内容 ・ 最上級 ・ 一番大切なものについてのQ&A | 8 | 【知識・技能】・最上級を理解する。 ・ 「～の中で1番」という表現や、それぞれの価値観が知れる技能を身につける。 【思考・判断・表現】・実際の生活に場面で最上級を用いて表現できる。 | 小テスト 定期考査 ワークシート パフォーマンステスト[S:] ※ペア発表を録画 | ○ | ○ | ○ |
| 前期中間考査 | | | 1 | | | | | |
| 6 | Lesson 11 I wish I had more free time | ・ 願望を表現する内容 ・ wish を使った仮定法 ・ 現実と願望 | 13 | 【知識・技能】・ wish を使った仮定法を理解する。 ・ 現在の事実と反する願望「今～であればいいのにな」を伝える技能を身につける。 【思考・判断・表現】・今の現実と今後に対する願望、それを現実にするために今できることについて述べるができる。 | 小テスト 定期考査 ワークシート | ○ | ○ | ○ |
| 7 | | | | | | | | |
| 8 | Lesson 12 If I were rich, I would buy a big house. | ・ 「～するとしたら」…を想定しやり取りをする内容 ・ If + would を使った仮定法 ・ 現実と異なる願望 | 8 | 【知識・技能】・ If + would を用いたアドバイスの基本型を理解する。 ・ 「～するとしたら…」という現在の事実と異なる表現を述べる技能を身につける。 【思考・判断・表現】・様々な場面に応じた表現を学び基礎的・基本的な知識を身に付け、自分自身の未来想像についての表現することができる。 | 小テスト 定期考査 ワークシート | ○ | ○ | ○ |
| 9 | | | | | | | | |
| 前期期末考査 | | | 1 | | | | | |
| 10 | Lesson 13 Have you ever been to Mount Fuji? | ・ 経験について話す内容 ・ 現在完了形(完了用法/経験用法/継続用法) ・ 「今までの経験」について質問する ・ 「いつから/どれくらいの期間」ずっと～している」か答える | 8 | 【知識・技能】・過去形と比較させてhave(has) + 過去分詞の基本形を理解する。 ・ 友人同士でよく使われる表現であるとともに、英語話者からもよくたずねられる質問に対し、適切な答え方や質問ができる技術を身につける。 【思考・判断・表現】・自分の経験したことや継続して行っていることについて伝え合うことができる。 | 小テスト 定期考査 ワークシート | ○ | ○ | ○ |
| 11 | Lesson 14 Flowers and trees will be planted in the garden. | ・ 誰に何をされる(た)のかQA形式でやり取りをする内容 ・ 受動態 ・ 受け身の状況を述べる | 7 | 【知識・技能】・能動態と比較させてbe + 過去分詞の基本形を理解する。 ・ されたこと、されていることについて尋ね合う技能を身につける。 【思考・判断・表現】・家の改修工事という場面を通して、受動態の過去、過去完了、進行形について表現を使って伝え合うことができる。 | 小テスト 定期考査 ワークシート プレゼンテーション[S.P] ※発表を録画 | ○ | ○ | ○ |
| 後期中間考査 | | | 1 | | | | | |

| | | | | | | | | |
|----|--|---|----|---|------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 12 | Lesson 15 I have a friend who plays the guitar well. | ・ 2つの文を組み立てて一つのまとまった文章を作る内容 ・ 関係代名詞 who, which, that ・ 単文を関係代名詞をつけて複文に変える | 11 | 【知識・技能】・関係代名詞を理解する。 ・ 2つの文を組み立てることで、表現の幅が広がること、Is there~?を使った表現でよりネイティブに近い関係代名詞を習得する技能を身につける。 【思考・判断・表現】・まわりの人々や世界の国々について情報や考えを伝え合うことができる。 | 小テスト 定期考査 ワークシート | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| | Lesson 16 America is the country where jazz was born. | ・ 関係代名詞と関係副詞の違い ・ 関係副詞when, where ・ 「時、場所」を詳しく説明する | 6 | 【知識・技能】・関係副詞when, where を理解する。 ・ 「時、場所」についてより詳しく表現する上でポイントをおさえ、代名詞の有無なども素早く判断して英作できる技能を身につける。 【思考・判断・表現】・「日本と米国の祝日の違いについて情報を交換する」場面を通して、関係副詞を用いて伝え合うことができる。 | 小テスト 定期考査 ワークシート | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| | 後期末考査 | | 1 | | | | | |
| | | | 70 | ※「主体的に学習に取り組む態度」は、「思考・判断・表現」と一体的に評価する。 S.I=「話すこと[やりとり]」、S.P=「話すこと[発表]」 | | | | |

4. 「話すこと[やりとり]」と「話すこと[発表]」を評価するパフォーマンステスト実施計画

【前期】

| 月 | 単元 | パフォーマンステストの種類 | 評価領域 | 評価の実施形態等 |
|---|-----------|---------------|------------|-------------|
| 5 | Lesson 10 | ペア（グループ）による会話 | 話すこと[やり取り] | 発表をタブレットに録画 |

【後期】

| | | | | |
|----|-----------|-----------|----------|-------------|
| 11 | Lesson 14 | プレゼンテーション | 話すこと[発表] | 発表をタブレットに録画 |
|----|-----------|-----------|----------|-------------|

* 「書くこと」の評価については、ワークシートおよび定期考査で評価する。